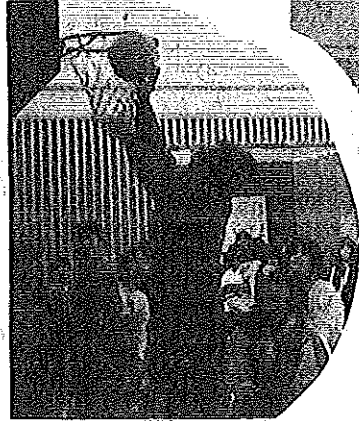
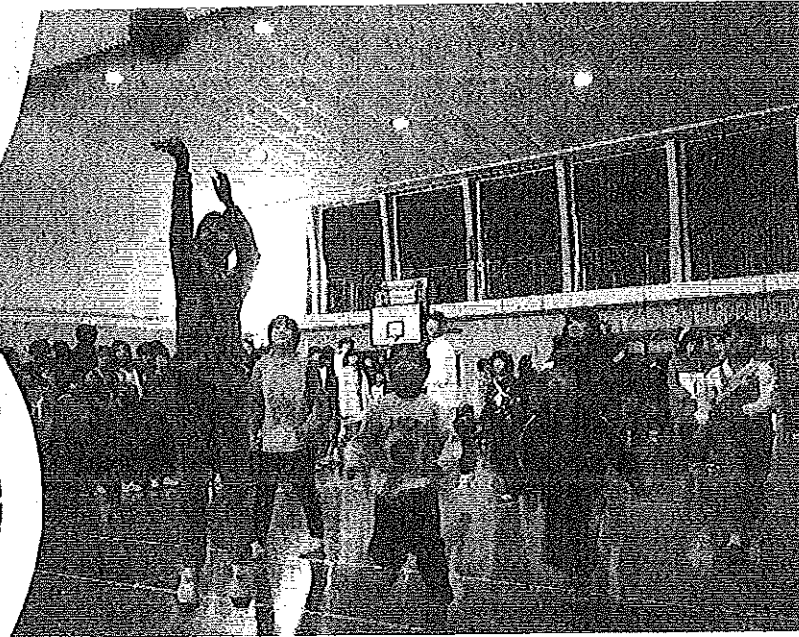


平成8年2月号
 桜木公民館
 徳山市城ヶ丘2-4-21
 TEL.(0834)-28-5973
 FAX.29-0788

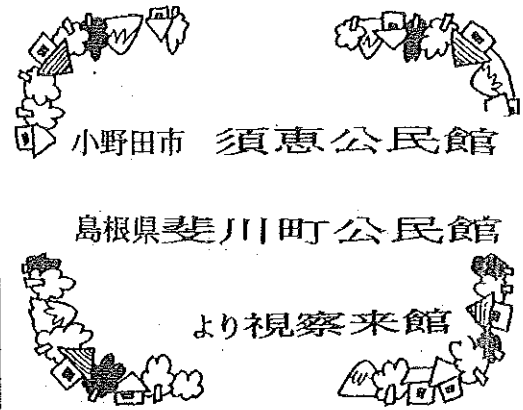
桜木式 バスケットボール大会

建国記念の日奉祝行事



二月十一日、桜木小学校において建国記念の日奉祝行事とバスケットボール大会が盛大に行われました。
 折から豪雪で、会場はグラウンドから体育館に変更され、また競技内容もエースドッジボールから、桜木式変則バスケットボールに変更されました。
 十一自治会より、子ども・成人チームの選手など、参加者は約六百名の大盛況、婦人会のバザーも行われ、楽しいなごやかな一日となりました。

★子どももの部	一位 城 3	二位 城 1
★成人の部	Aコート一位 桜 1	Bコート一位 城 4



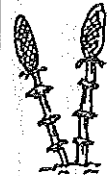
小野田市 須恵公民館

島根県斐川町公民館

より視察来館

去る一月十八日、小野田市須恵公民館の運営協議会(運営)十四名の委員さんが、桜木公民館へ視察来館されました。
 藤井運営協議会長さんからは、桜木公民館予算についての質問が集中し、同時に小野田市の様子について「七館中四館が地域参画型をとっており、予算を費って自主運営している」とのご紹介がありました。

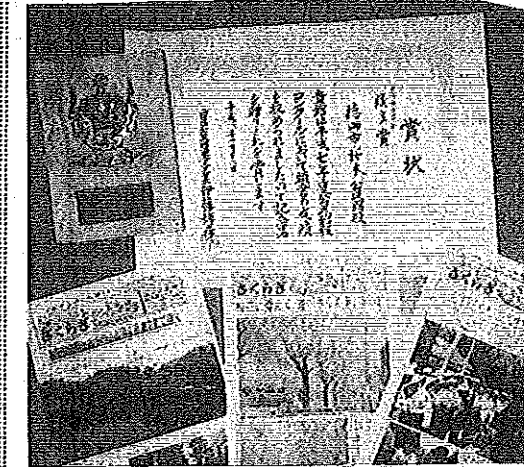
また、二月十三日、島根県斐川町より、教育委員会生涯学習課長さん、公民館長さん等十二名の方が視察に來られました。
 二時間にわたって、運営予算等、熱心な質疑がなされた後、館内を見学され、「よく、できている」とのおほめの言葉を残して帰られました。



【恒瀬佳未後記】
 「とおの山新春登山」の登山者数について一月号で三百五十名と紹介したところ、福引券が出た数から推算すると、もっと多いのではということ、平成八年度登山者数は四百五十名と訂正させていただきます。
 とところで、公民館廊下に城ヶ丘五丁目の石井さんが撮影された「とおの山御来迎」の写真の下に張ったスクラップ記事は、ローカル紙日刊新周南の投稿欄のものですが、読んでいて嬉しくなったので紹介させていただきます。
 内容は「正月二日にとおの山に登って見たが、前日沢山の人が登ったはずなのに、煙草の吸殻一つなく、きれいだっただ。というものです。
 ふるさとのシンボル「とおの山」をみんなが愛し、大事に守って下さっていることは、本当にありがたいことです。
 「大晦日は夜が遅いので、元旦早朝は行けなかったが二日に登りました。」という人も多いので、新春登山者数は五百名に再訂正していかも知れません。

山口県公民館連合会の募集した館報コンクール、タイプ・ワープロの部に応募した公民館だより「さくらぎ」は、本年度も優良賞を受賞しました。
 応募方法は、「平成七年度に発行したもののうち三回分を提出」となっているのですが、桜木では、前公民館長の遺作、四・五・六月号を備考欄に次のように記入して提出しました。

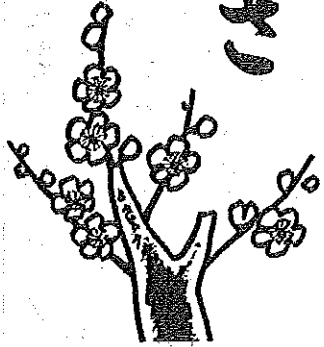
「公民館だより「さくらぎ」は、弘中逸美館長が七年間一度も休むことなく、八十九号連続発行されて来た。しかし、弘中館長は平成七年七月二十六日永眠された。六月の八十九号は、病と闘いながら最後の力を振りしぼって編集された絶筆号である。」
 表彰式は、一月二十六日県庁職員ホールに於ける、公民館職員研修会の席上行



われ、小演主の手に表彰状と楯が渡されました。

第13回 さくらぎ文化祭

平成8年3月16日(土)～17日(日)
場所 桜木公民館



- ☆桜木公民館講座学習の“うでまえ”ご披露
 - ☆バザーコーナー
 - ☆地区団体活動紹介、小・中学校作品コーナー
- など など 盛りだくさん!!
皆様 是非ともお出で下さいますよう
お待ちしております。

遊休日叩きバザー

ご家庭で眠っている品物がありましたら、提供お願いします。
売上げは、桜木地区社会福祉協議会で有効に使わせていただきます。
♡3月15日(金)までに
♡桜木公民館(☎二八五九七三)へ
(電話を戴けば、取りに伺います)
ご協力よろしく願います。

一般作口叩き券集

公民館講座の成果発表だけでなく、地区の皆さんの参加もいただいて、質の高い文化祭にしたいと思えます。
絵画、彫塑、陶芸、習字何でも結構です。
どうぞ、ふるって参加し、ご披露下さい。
申込み・2月29日(木)までに
桜木公民館(☎二八五九七三)
作品搬入・3月15日(金) 13時
作品撤去・3月17日(日) 15時

第4回

桜木スキーバスツアー



二月四日に行われた桜木体育振興会主催の桜木スキーバスツアーも今年で4回目を迎えました。
バスは朝6時に目的地であるユートピアサイオトスキー場に向けて出発。バスの中では、子供にはお菓子とジュース、大人にはおつまみとビールが用意され、豪華商品が当たるビンゴゲームで盛り上がりました。
スキー場に到着してすぐスキーへのはやる気持ちを抑えながら記念撮影。そして、いよいよ自由行動へ。
スキーが初めての人や、初心者のために講習会が開かれ、滑り終わった後にはライメンがふるまわれるなど、細部まで行き届く心配りがなされ、参加者全員が楽しめました。



なぜ合併？ なぜ30万人？ まちづくり学習会開催

1月29日、桜木公民館と桜木白ばら会の共催でまちづくり学習会を開催しました。参加者45名。桜木白ばら会会長の伊藤義雄さんより、下記のような感想をいただきました。

帰りのバスの中では、参加者全員の感想を発表し、それぞれのスキーに対する意気込みや、自慢話などが聞かれ、終始和やかな雰囲気の中で桜木に到着しました。役員の方々本当にお疲れさまでした。

中核都市推進室長・大木賢治さんの講話を聞いて次のような事を感じた。
徳山・新南陽・下松・光等は市であっても都会ではなく田舎である。したがって若者は田舎から出たい、田舎には帰りたくないの思いが生まれてくる。このような思いがあれば若者の流出を止めることは出来ないし、またUターンは望めない。若者が定住したくなるような魅力ある都市づくりを目指すためには、合併II中核都市づくりは必要である。
新南陽市に合併推進派の市長が誕生し、徳山市議会内に「地方拠点都市研究会」を置くなど、合併の気運が盛り上がってきている。
約十年間停滞していた議論を盛り上げるよい時期だと思う。

